

目次



日本の国際協力

第 I 部 気候変動と開発

第 1 章	気候変動問題への日本の取組	2
第 1 節	国際社会における気候変動問題を巡る議論	2
1.	喫緊の課題としての気候変動問題	2
2.	気候変動枠組条約第13回締約国会議(COP13)	2
3.	G8北海道洞爺湖サミットと主要経済国首脳会合	3
	(1) 長期目標	3
	(2) 中期目標	3
	(3) 開発途上国関係	3
第 2 節	日本のリーダーシップ	5
1.	「クールアース推進構想」の発表	5
2.	「低炭素社会・日本」をめざして—日本の目標提示	5
第 2 章	クールアース・パートナーシップの推進	8
第 1 節	開発途上国における気候変動対策	8
1.	気候変動への適応策と緩和策	8
	(1) 適応—気候変動による悪影響への対応	8
	(2) 緩和—温室効果ガス排出量の削減	9
2.	クリーン開発メカニズム(CDM)	10
第 2 節	クールアース・パートナーシップ	11
1.	開発途上国との連帯強化	11
2.	各国との取組	11

第 I 部	第 1 章
	第 2 章
第 II 部	第 1 章
	第 2 章
第 III 部	第 1 章
	第 2 章
	第 3 章
第 IV 部	第 1 章
	第 2 章
資料編	第 3 章
	第 4 章
	参考
	略語一覧
	用語集
	索引

第Ⅱ部 アフリカ開発への新たな取組

第1章 世界の関心を集めるアフリカ 14

第1節	アフリカ開発に対する国際的な取組	14
1.	アフリカの問題は世界の問題	14
2.	G8サミットとアフリカ開発	15
3.	TICAD IVとG8北海道洞爺湖サミットでの日本のリーダーシップ	15
	(1) 世界経済フォーラム(ダボス会議)	15
	(2) G8開発大臣会合	16
	(3) 第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)	16
	(4) G8北海道洞爺湖サミット	17
	(5) MDGs達成に向けての議論の高まり	19
第2節	日本とアフリカ開発	22
1.	TICADの基本哲学	22
	(1) TICADプロセス	22
	(2) オーナーシップとパートナーシップ	22
	(3) アジア・アフリカ協力	23
2.	対アフリカ支援の意義	23
3.	今後の取組	23

第2章 アフリカの自立に向けた支援 26

第1節	アフリカ開発の課題への具体的取組	26
1.	明暗二つの面を持つアフリカの現状	26
2.	日本の公約達成	26
3.	アフリカ開発の重点事項	27
第2節	成長の加速化	28
1.	インフラの整備	28
2.	貿易・投資促進	28
第3節	「人間の安全保障」の確立	29
1.	地域社会(コミュニティ)開発支援	29
	(1) コミュニティ需要に応じた支援の考え方	29
	(2) TICAD IVにおける議論	29
	(3) 一村一品運動の展開	29
2.	保健	30
	(1) 3つの保健関連の開発目標	30
	(2) 包括的保健医療の支援	32
	(3) 国際保健に関する行動指針	32
3.	教育	33
	(1) 現状	33
	(2) 日本の基本的な考え方と具体的支援策	33
	(3) TICAD IVおよびG8北海道洞爺湖サミット	33
4.	平和の定着	34
	(1) 見えてきた平和のさざし	34
	(2) アフリカ自身の平和維持能力向上支援	34
第4節	環境・気候変動問題	36
1.	気候変動	36
2.	水・衛生分野の支援	36
	(1) 現状	36
	(2) 日本の基本的な考え方と具体的支援策	37
	(3) TICAD IVおよびG8北海道洞爺湖サミット	37
第5節	食料価格高騰と農業・農村開発	38
1.	貧困削減と農業・農村開発の重要性	38
2.	食料価格高騰問題とアフリカ諸国	38
3.	食料価格高騰問題を巡る日本の取組	41

第Ⅲ部 2007年度の政府開発援助(ODA)実績

第1章	実績から見た日本の政府開発援助	44
	＜ 実績の分析 ＞	44
	＜ 二国間政府開発援助の実績 ＞	46
第2章	日本の政府開発援助の具体的取組	50
第1節	政府開発援助大綱の基本方針に関連した取組	50
1.	政府開発援助大綱	50
2.	政府開発援助中期政策・国別援助実施計画	51
3.	国際協力重点方針の設定	51
第2節	課題別の取組状況	52
1.	持続的成長	52
	(1) 経済社会基盤(インフラ)	52
	(2) 政策立案・制度整備	53
	(3) 人づくり	55
	(4) 情報通信技術(ICT)	58
	(5) 貿易・投資の円滑化	60
	(6) そのほかの公的資金や民間部門との連携	61
	(7) 債務問題への取組	64
	(8) 文化復興・振興	65
2.	社会開発への支援	67
	(1) 教育	67
	(2) 保健医療・福祉	70
	(3) 水と衛生	72
	(4) 農業・農村開発／水産	74
	(5) 社会的性差(ジェンダー)	76
3.	地球的規模の問題への取組	78
	(1) 環境問題	78
	(2) 感染症	82
	(3) 人口	86
	(4) 食料	86
	(5) 資源・エネルギー	88
	(6) 防災と災害復興	89
	(7) テロ・海賊	94
	(8) 国際組織犯罪	95
4.	平和の構築	96
	(1) イラク	100
	(2) アフガニスタン	102
	(3) スーダン	103
	(4) 対人地雷・小型武器	105
第3節	地域別の取組状況	106
1.	東アジア地域	106
2.	南アジア地域	110
3.	中央アジア・コーカサス地域	114

第Ⅰ部	第1章
	第2章
第Ⅱ部	第1章
	第2章
第Ⅲ部	第1章
	第2章
	第3章
第Ⅳ部	第1章
	第2章
	第3章
	第4章
	参考
	略語
	一覧
	用語集
	索引

4.	アフリカ(サブ・サハラ)地域	116
5.	中東地域	120
6.	中南米地域	123
7.	大洋州地域	127
8.	欧州地域	130
第4節	援助実施の原則の運用状況	132
第5節	援助政策の立案および実施における取組状況	135
1.	援助政策の立案および実施体制	135
	(1) 一貫性のある援助政策の立案	135
	(2) 政府と実施機関の連携	136
	(3) 現地機能の強化	138
	(4) 政策協議の強化	140
	(5) 内外の援助関係者との連携	140
	(イ) 民間企業との連携	140
	(ロ) NGOとの連携	142
	i. NGO活動への資金協力	142
	ii. NGO活動の環境整備	142
	iii. NGOとの対話と連携	143
	(ハ) 大学・地方自治体との連携	144
	(ニ) 開発途上国の地方自治体・NGOなどとの連携	144
	(ホ) 国際機関や他国との連携	145
2.	国民参加の拡大	148
	(1) 国民各層の広範な参加	148
	(2) 人材育成と開発研究	150
	(イ) 人材育成	150
	(ロ) 開発研究	150
	(3) 情報の公開と発信	151
	(イ) 広報・情報公開	151
	(ロ) 開発教育	153
	(ハ) 国際社会に対する情報発信の強化	154
3.	効果的実施のために必要な事項	155
	(1) 評価の充実	155
	(2) 適正な手続の確保	157
	(3) 不正、腐敗の防止	157
	(4) 援助関係者の安全確保	158
	(5) 政府開発援助事業の安全管理	159

第3章 国際的な援助動向と日本の取組 160

第1節	援助における成果重視の定着	160
第2節	援助国間の連携	161
1.	国際的動向と日本	161
2.	新たな援助主体との協調	161
第3節	国連などの動向と日本の取組	163
1.	経済協力開発機構開発援助委員会(OECD-DAC)の動き	163
2.	国連の動き	163
	(1) 国連総会および関連会合	163
	(2) 国連経済社会理事会「開発協力フォーラム」	163
3.	世界銀行の動き	164

第Ⅳ部 資料編

第1章	日本の政府開発援助予算	166
第1節	2008年度政府開発援助予算(当初予算)	166
図表Ⅳ-1	政府開発援助予算	166
図表Ⅳ-2	一般会計予算	166
図表Ⅳ-3	政府開発援助事業予算の内訳	167
図表Ⅳ-4	政府開発援助一般会計予算[政府全体]	168
図表Ⅳ-5	政府開発援助事業予算[政府全体]	168
図表Ⅳ-6	政府開発援助事業予算の財源と援助形態別歳出項目	169
第2節	各省庁の事業予算(当初予算)と事業概要	170
図表Ⅳ-7	省庁別政府開発援助予算推移(一般会計予算)	170
図表Ⅳ-8	省庁別政府開発援助予算推移(事業予算)	170
図表Ⅳ-9	各省庁の事業予算(2008年度事業予算)と事業概要	171
第2章	日本の政府開発援助実績	178
第1節	開発途上国への資金の流れ	178
図表Ⅳ-10	日本から開発途上国への資金の流れ	178
図表Ⅳ-11	二国間政府開発援助所得グループ別配分(DAC分類)	179
第2節	援助形態別実績	180
図表Ⅳ-12	援助形態別政府開発援助実績(2007年)	180
第3節	地域別実績	181
図表Ⅳ-13	二国間政府開発援助の地域別・形態別配分	181
第4節	国別実績	182
図表Ⅳ-14	国別・援助形態別内訳	182
図表Ⅳ-15	二国間政府開発援助形態別30大供与相手国	188
図表Ⅳ-16	日本が最大の援助供与国となっている国一覧	190
図表Ⅳ-17	日本がこれまでに政府開発援助を供与したことのある国・地域一覧(2007年実績まで)	191
第5節	分野別実績	192
図表Ⅳ-18	二国間政府開発援助分野別配分	192
第6節	国際緊急援助実施状況	193
図表Ⅳ-19	緊急援助実績(「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」施行以降)	193
図表Ⅳ-20	国際緊急援助体制による国際緊急援助隊派遣および物資供与実績(2007年度)	194
第7節	NGO等が実施する開発援助関連事業への支援状況	195
図表Ⅳ-21	2007年度日本NGO連携無償資金協力の実績	195
図表Ⅳ-22	2007年度日本NGO連携無償資金協力分野別実績	195
図表Ⅳ-23	DAC諸国のNGOによる援助実績	196
第8節	国際機関に対する政府開発援助実績	197
図表Ⅳ-24	主要援助国の政府開発援助総額に占める国際機関を通じた援助額の割合	197
図表Ⅳ-25	国際機関に対する政府開発援助実績の推移	197
図表Ⅳ-26	主要援助国の国際機関に対する拠出金・出資金等の実績(上位5か国)	198

第Ⅰ部	第1章
	第2章
第Ⅱ部	第1章
	第2章
第Ⅲ部	第1章
	第2章
	第3章
第Ⅳ部	第1章
	第2章
	第3章
	第4章
	参考
	略語
	用語集
	索引

第3章	2007年度二国間援助案件リスト	200
第1節	二国間贈与	200
①	無償資金協力案件一覧(一般プロジェクト無償資金協力)	200
第2節	二国間借款	204
①	有償資金協力案件一覧	204
第4章	政府開発援助に関する主な資料	206
第1節	日本の政府開発援助の軌跡(1945年～2008年10月)	206
第2節	政府開発援助に関する政策	214
①	政府開発援助大綱(2003年8月閣議決定)	214
②	政府開発援助に関する中期政策	220
③	現行の分野別イニシアティブ一覧	234
④	重債務貧困国(HIPC:Heavily Indebted Poor Countries)一覧	235
(参考)	諸外国の政府開発援助	236
第1節	DAC諸国の政府開発援助実績	236
	図表IV-27 DAC諸国の政府開発援助実績	236
	図表IV-28 DAC諸国の政府開発援助形態別内訳	237
	図表IV-29 DAC諸国の政府開発援助対GNI比	238
	図表IV-30 DAC諸国の国民一人当たり政府開発援助	238
	図表IV-31 DAC諸国の贈与比率	239
	図表IV-32 DAC諸国の贈与の絶対額	239
	図表IV-33 DAC諸国のグラント・エレメント	240
	図表IV-34 DAC諸国の二国間政府開発援助のタイピング・ステイタス	240
	図表IV-35 DAC主要国の政府開発援助の比較	241
	図表IV-36 DAC主要国の地域別実績の割合	242
	図表IV-37 DAC主要国の二国間政府開発援助分野別配分	242
第2節	開発途上国への資金の流れ	243
	図表IV-38 DAC諸国の開発途上国への資金の流れ	243
第3節	非DAC諸国・地域の政府開発援助実績	244
	図表IV-39 非DAC諸国・地域の政府開発援助実績	244
第4節	DAC援助受取国・地域リスト(2007年)	245
	図表IV-40 DAC援助受取国・地域リスト(2007年)	245

略語一覧

用語集

索引

図 表

第Ⅰ部 図表

図表Ⅰ-1	世界各国のエネルギー起源CO ₂ 排出量	3
図表Ⅰ-2	環境・気候変動分野の成果	4
図表Ⅰ-3	日本の気候変動政策	6
図表Ⅰ-4	クールアース・パートナーシップの全体像(イメージ)	9

第Ⅱ部 図表

図表Ⅱ-1	「横浜宣言」概要(2008年5月30日)	17
図表Ⅱ-2	G8北海道洞爺湖サミット議長総括「開発・アフリカ(骨子)」	18
図表Ⅱ-3	世界の食料安全保障に関するG8首脳声明(骨子)	19
図表Ⅱ-4	ミレニアム開発目標(MDGs)の達成状況(国連「MDGs2008 進ちょく図表」等から)	20
図表Ⅱ-5	食料価格高騰に起因する暴動が多発(2008年6月24日現在)	39
図表Ⅱ-6	開発途上国における食糧援助および農業生産増大のための日本の支援	41

第Ⅲ部 図表

図表Ⅲ-1	2007年の日本の政府開発援助実績	45
図表Ⅲ-2	日本の二国間政府開発援助の形態別実績	46
図表Ⅲ-3	日本の政府開発援助予算の推移・他の主要経費の推移	47
図表Ⅲ-4	日本の二国間政府開発援助の地域別配分の推移(支出純額ベース)	47
図表Ⅲ-5	DAC主要国の政府開発援助実績の推移(支出純額ベース)	47
図表Ⅲ-6	DAC主要国の政府開発援助実績の推移(支出総額ベース)	48
図表Ⅲ-7	DAC諸国における政府開発援助実績の国民一人当たりの負担額	48
図表Ⅲ-8	DAC諸国における政府開発援助実績の対国民総所得(GNI)比	48
図表Ⅲ-9	日本の政府開発援助実績との対国民総所得(GNI)比率の推移	49
図表Ⅲ-10	日本の二国間援助に占める後発開発途上国(LDC)向け援助額	49
図表Ⅲ-11	日本の二国間援助に占める後発開発途上国(LDC)向け贈与の割合	49
図表Ⅲ-12	平和構築概念図	98
図表Ⅲ-13	東アジア地域における日本の援助実績	107
図表Ⅲ-14	南アジア地域における日本の援助実績	111
図表Ⅲ-15	中央アジア・コーカサス地域における日本の援助実績	115
図表Ⅲ-16	アフリカの現状	117
図表Ⅲ-17	アフリカの経済成長率	117
図表Ⅲ-18	アフリカ地域における日本の援助実績	118
図表Ⅲ-19	中東地域における日本の援助実績	121
図表Ⅲ-20	中南米地域における日本の援助実績	124
図表Ⅲ-21	大洋州地域における日本の援助実績	128
図表Ⅲ-22	欧州地域における日本の援助実績	131
図表Ⅲ-23	国別援助計画・現地ODAタスクフォースの立ち上がっている国一覧	139
図表Ⅲ-24	ジャパン・プラットフォームの仕組み	143

目 次

1. 第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)開催と横浜市の活動	24
2. 地球規模課題に対応する科学技術協力	80
3. 世界エイズ・結核・マラリア対策基金(世界基金)と日本の取組	85
4. 新JICAの発足～新時代の国際協力～	137
5. 円借款における「顔の見える援助」の取組	141
6. 市民参加の拡大を目指して 草の根技術協力事業	146

コ ラ ム

1. 「三本立て」で強い農業を ～アマゾン流域の農業を守る日本の知恵ーアグロフォレストリー～	7
2. みんなでエイズの阻止を! ～マラウイでの連携による感染症対策～	31
3. 「日本とアフリカいつも笑顔で」 ～TICAD IV親善大使鶴田真由さん～	40
4. いつも声をかけあって ～ガボンの老人介護～	57
5. モンゴルでマスコミ人材を育てる ～放送技術を指導するシニア海外ボランティア～	59
6. 「アジアのデトロイト」の実現に向けて ～官民連携プロジェクトで活躍するJICA専門家～	63
7. 子ども中心の授業を ～ボリビアの教育改革～	66
8. 幸福を呼ぶ井戸 ～ミャンマーで百本建設へ～	73
9. 自立のきっかけとなる「気づき」 ～インドの女性支援～	77
10. ミャンマー国際緊急援助隊医療チームの活躍	92
11. 生活向上で平和の構築を ～日本の平和構築人材育成～	99
12. インド少年の夢 ～日本の支援による孤児院からの新たな旅立ち～	113